

おち町

№ 148

2024(R6)5/1
高知県越知町議会

議会だより OCHI TOWN

幼稚園さいご
の卒園式
3/22(3面参照)

3月定例会

- 2P 今年の事業ピックアップ・など
- 4P 山間地域住民・農業委員会との懇談会
- 16P 防災・減災対策など5人が問う(一般質問)

- 2 今年の事業ピックアップ
副食費・学校給食費扶助事業
- 懇談会
- 4 山間地域住民・農業委員会
- 一般会計予算 前年度比12.4%増
- 8 **51億3505万円**
- どう使う新年度予算（議案質疑）
- 10 **自転車ヘルメット購入補助金**など
- こんなことが決まったぜよ
- 12 **子育て支援センター実施**
国民健康保険税率改正など
- 一般質問5人が問う
- 16 **防災・減災対策**など
- 総務教育委員会レポート
- 22 **小学校照明のLED化**など
- 産業建設委員会レポート
- 24 **防災・安全対策交付金工事**など
- 追跡！あれはどうなっっちゃうが？
- 26 **ごみ出し問題**
- 議会ですこんにちは
- 28 **連載：おちのたから①**

今号の表紙



3月22日に越知町立越知幼稚園の卒園式・閉園式が行われました。

今年の事業ピックアップ

6年3月定例会

6年度当初予算の中から、注目する事業を取り上げました。

10面に
関連記事



産業の振興
農業労働力確保支援
事業費補助金

もう少しだ！がんばろう！

農業生産法人・農業生産団体などが営む農作業の労働力確保のために要する経費に対し、予算の範囲内で補助金を交付する。

102万円

子育て支援の充実
副食費・学校給食費扶助事業

405万円



いただきます

副食費（認定こども園給食費）については、6年度から無料とする。
学校給食費については、食材などの価格高騰により賄材料費を30円値上げするが、保護者からの給食費は現行と同額とする。
差額の30円は公費負担とし、保護者の負担を軽減する。

防災体制の充実
避難所開設訓練

200万円



いざというときのために

避難所運営マニュアルに基づく訓練実施と同訓練の検証およびマニュアルの見直し。

林業
森林経営管理推進事業

3335万円



11面に
関連記事

枝打ちされたヒノキ

間伐促進事業および林業担い手確保推進事業、国事業への高上げとして造林促進事業に取り組む事業者に支援を行う。

10年後はどのような？ 山間集落のくらし



日ノ浦集会所にて

いのちの水

住民 水を清助のあたりからひっぱちゅうわけよ。2、3キロメートルはあると思う。

当時はみんなが若かったから、いろんな話をしつつ、掃除に行きよった。みんな年がたって、タンクの掃除をせないかんなるき。いずれあの奥までよう行かんなると思う。近くの谷でも補えるところなんです。

議員 地区内で話し合い、町へ相談していただきたいと思います。

ちやがまりゆう

住民 サンショウは、じいじ、ばあばが採りゆうだけ。若い者はよけおらん。

住民 人が来てくれるかっていうのが問題やないろうか。



集落に迫る山林

2月9日に日ノ浦集会所で山間地域の住民懇談会を開催しました。3地区から9人の参加があり活発な意見交換ができました。

廃ってらへ道

住民 道路管理をやってほしい。シルバー関係の人がいないということ、道が廃っていきゆう。

住民 年に1回はひと通り刈ってくれるけど、2

回目はないです。

住民 どっちなにしてもいい。草を刈ってくるときは草ばつかり全部刈ってほしい、上から下まで。掃除は掃除でかまから。生えてるところは車で通れるのがやっという状態になる。

議員 シルバー人材センターが人手不足で手が回らないのが現状です。その他、役場の作業班が道路管理も手伝っています。



暑い中での収穫作業

どうなりゆう

住民 日ノ浦の災害工事はどうなりゆう。

議員 4月に臨時議会を開いて、契約更新をしなればいけない時期にきています。今年8月の終わりに山側は完了予定です。

その他

空き家関係

住民 来てくれる人がおたら来てもらうたらえせないかんけ、来てくれる人がおたらえいわ。

保健福祉関係

住民 健診行くにも越知まで行かないかんたなき、遠なつた。



日ノ浦の災害工事

袋小路

住民 大きな災害があったら、僕らのところは袋小路で出ていくということができない。

京仲から谷ノ内に抜けているほつそい道があるが、その道がちょっと傷んできているんで、農閑

期の間にはできることをやっほつ。

議員 災害復旧工事に対応しています。



町道白岩谷ノ内線災害復旧工事

住民の皆さまからのお話を聞き、人口減少・少子高齢化の課題を目的に、山間地域の厳しい状況を改めて感じました。切実なご意見などにつきまして、町執行部に十分伝えまして、早い時期に対応してもらいたいと思っております。議会としてもご要望に応えるよう努力してまいります。

なんとかせんといかん! 越知の農業

議会はこれまでに商工会や若者・業種別の団体と懇談会を行ってきました。今回は、農業委員会の皆さんに口頭から思っていることや農政に対する意見をお伺いしました。

ほ場整備

委員 越知町は、ほ場整備が進んでない。大型化した機械でやらんと田んぼがいかななりゆう、放棄地ばっかりになってしまつて。ほ場整備は、2メートルの道をするんじやのうて、4メートルくらいの道をガーンと抜いてやらんと。



守れ!越知の農業

耕作放棄地

委員 耕作放棄地がかなり進んだと思う。自分が農家になった頃には、あと、30年、40年したら変わるでつて言いよつたけど、ここ4、5年くらいで耕作する人もすぐ減つてきて、農業委員として自分も努力をせないかんところもある。



進入路があれば……

委員 放棄地になっていくところは、便利が悪いです。そこが便利良くなるような施策をしながら、それを誰かに耕作してもらうというようなプランを立てないといけない。
委員 一番ショックを受けたのが、持ち主不明の農地が多々あると、びっくりした。



放置される段々畑

補助金

委員 補助金で活用できるのが団体とか大規模なんです。でも何反つてやりゆう個人の農家の人が頑張りゆうのがベースなので、個人の農家が対象の補助金とかを簡単に使える施策がないもんですかね。

か、団体やつたら出ますとかはあるんですけど。実際は、個人の農業者が頑張りて農地を守っている。せまい面積で頑張りて人へ補助対象のすそのを広げてもらえたらもつといいと思います。越知町では、そういう単独はありますけど、県にいくともう対象外なんですよね。



越知のシンボル

移住

委員 移住を検討している人とよく話をする。川があったり、山があったり越知町の環境つてすごく気に入っていた。でもそこで農業をするための手段、土地がない、家がない。これも一緒に考えないと、なかなか移住とかは難しいかなと思います。

新規就農

委員 最近では機械化で畑をクワで打つてする人はいない時代で、機械を買ってなつたら、いろんな種類があつて、草刈りから始まつて、すごく値段も高いんですよ。移住して農家になるやつたら、来てすぐ何百万もする機械を買つとかいうんじやなくて、町が持つ機械を貸してくれるとか、それに付け加えて、作業班の農業版みたいなものがあれば、進みやすいかなとは思っています。



採算の取れない山林

女性がひとりでも

委員 女性が一人でも農業ができるように考えてほしい。
委員 どんどん高齢化になつて、人が少なくなつ

林業

て、荒れ放題の土地ばかりになつている。生きているのは山林、これを何とか活性化できるような手だてつていうのはないですかね。木はいっぱいあるから活用してもらいたい。

農業は、未来につなげなくてはならない本町の基幹産業です。

耕作放棄地や後継者不足など喫緊の課題について、一般質問や提言を行つてまいりましたが、補助金制度の見直しや小規模農家に対する支援など貴重なご意見をいただきました。農業委員会の皆さんから出されたご意見などにつきますしては、議員一同共有して今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。ありがとうございました。



小規模ほ場整備事業

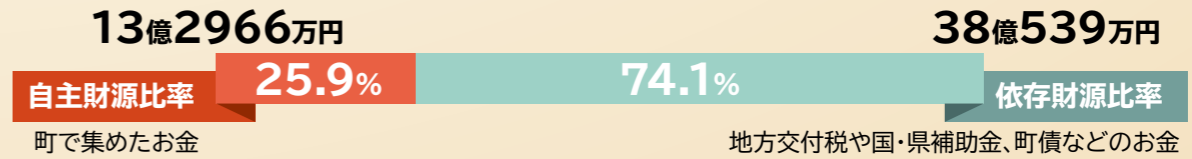
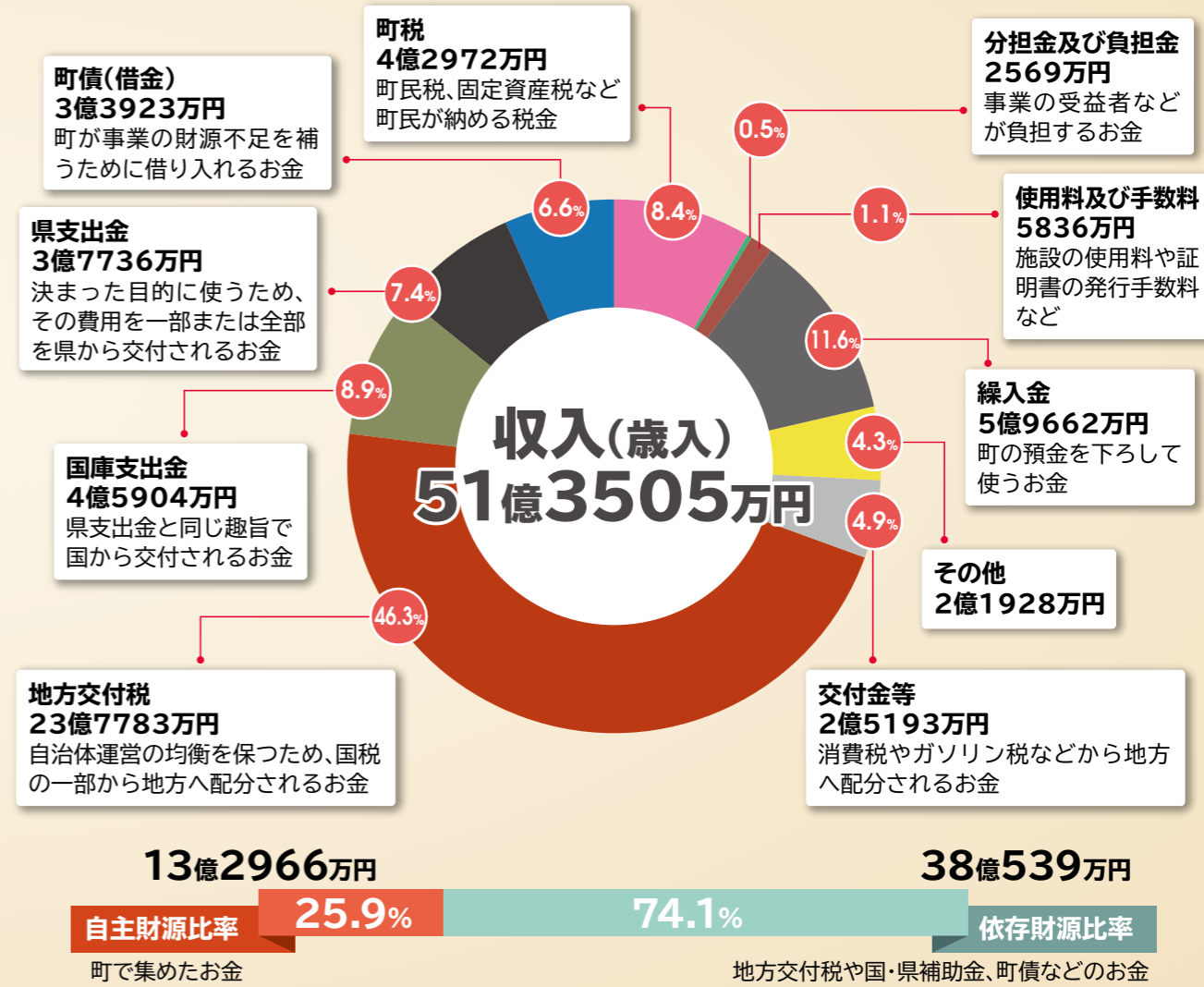
前年度比
12.4%増

一般会計当初予算

51億3505万円

3月定例会は、1日から6日までの会期で開かれ、6年度各会計予算、5年度各会計補正予算、子育て支援センター条例の制定、12面に関連記事、越知町国民健康保険条例の一部を改正する条例【13面に関連記事】工事請負変更契約の締結【14面に関連記事】など28件を全員賛成で可決・承認しました。

最低賃金の引き上げと雇用増進を可能とする中小零細企業支援の拡充を求める意見書【15面に関連記事】を全員賛成で可決し、一般質問【16面から】は5人が登壇し、執行部の考えをいただきました。



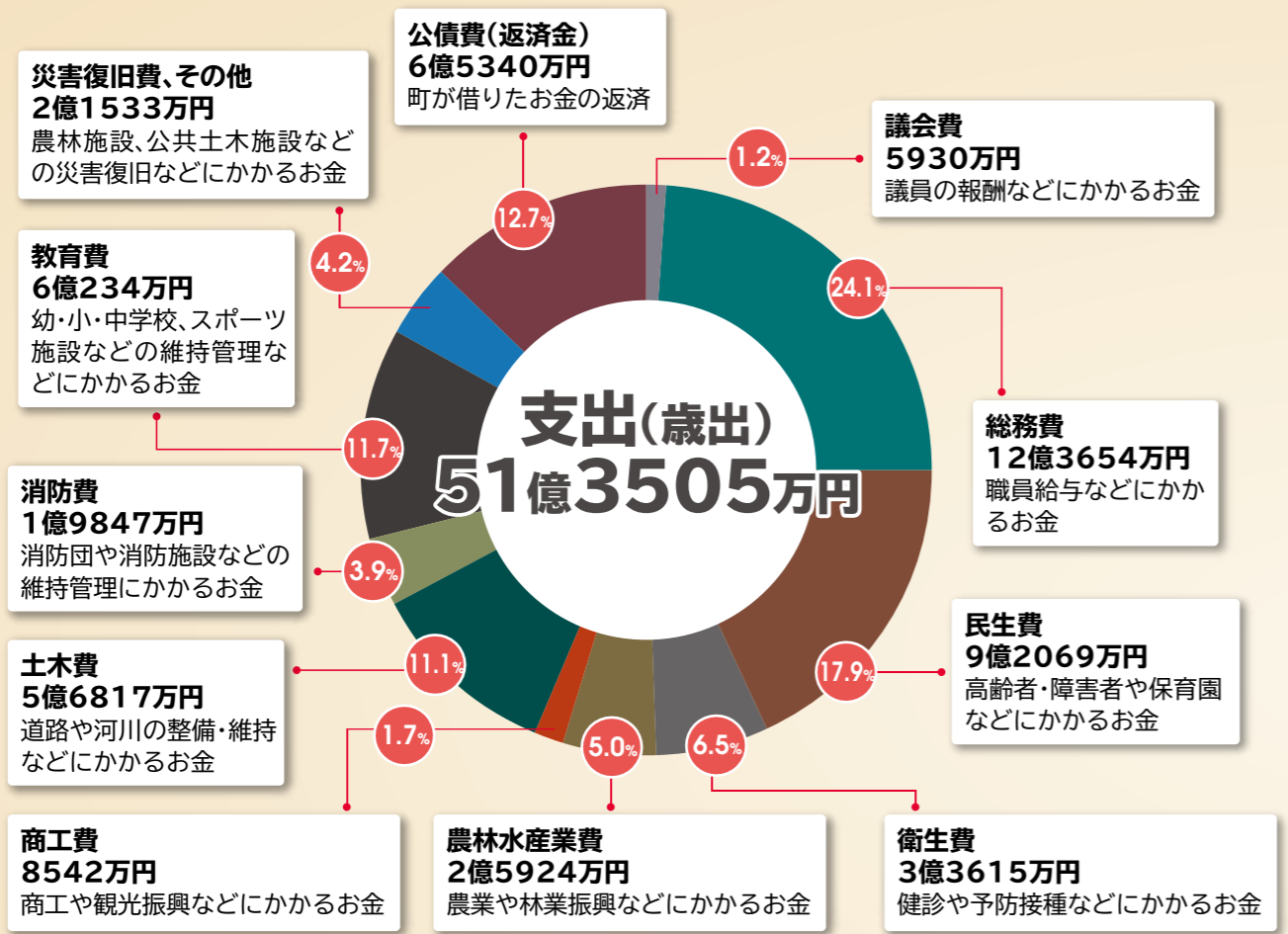
6年度各会計当初予算額

全ての会計を全会一致で可決 △はマイナス

会計区分	一般会計	特別会計					企業会計		
		国民健康保険	介護保険	後期高齢者医療	土地取得	蚕糸資料館	自然の森博物館	簡易水道	下水道
予算額	51億3505万円	7億1251万円	9億6155万円	1億2840万円	1万円	23万円	3496万円	1億7139万円	2億1568万円
増減	5億6634万円	2億72万円	△9865万円	455万円	0万円	△3万円	542万円	2587万円	△2億2317万円

収入と支出を解説

防災・安全対策 交付金工事に1億5150万円

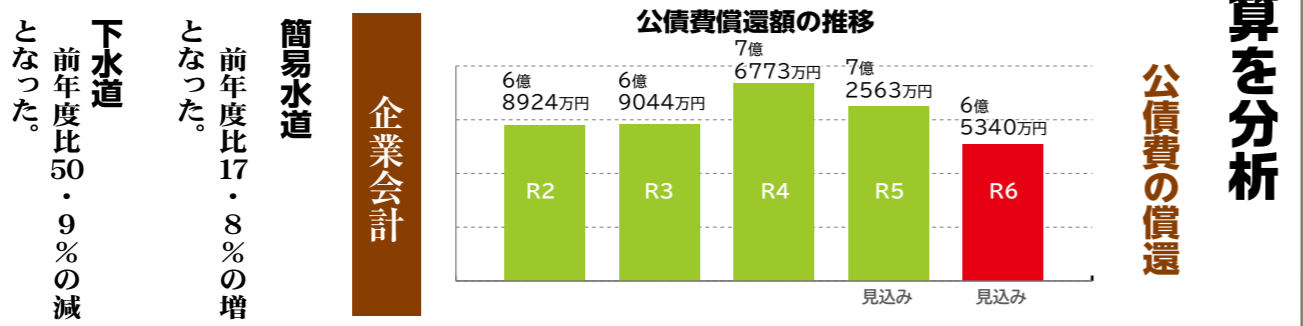


今年予算を分析

一般会計
公債費10・0%減
人件費や公債費などの義務的経費は、20億2294万円と全体の39・4%を占める。
公債費が6億5340万円、10・0%の減となった。

投資的経費67・5%増
普通建設事業費や災害復旧事業費の投資的経費は、5億9444万円、全体の11・6%を占める。洞門修繕工事や築池防災対策工事に係る設計委託業務、社会的資本整備総合交付金事業などで67・5%の増となった。

その他の経費49・0%
一部事務組合や各種団体への負担金、補助金や特別会計への繰出金などその他の経費は25億1766万円、全体の49・0%を占める。



一般会計

企画課

パンフレットの作成

森下 委託料で、パンフレット作成とあるが、どういった内容か。

冊子などの増刷

岡林 町民バスの待合所建築工事はどこを予定しているのか。

総務課

工事場所は

岡林 町民バスの待合所建築工事はどこを予定しているのか。

黒瀬 井上総務課長 黒瀬バス停の建築である。



町民バス黒瀬待合所予定地

増額理由は

森下 かわの駅キャンプ場指定管理。昨年に比べ、増額になっているが理由は。

住箱などの修繕

岡林 住箱などの大きな修繕があり、増額となっている。

出展予定は

岡林 イベント出展負担金699万5千円。これ



修繕される住箱

はどのようなイベント出品のための負担金か。

9カ所

岡林 地域おこし協力隊の募集を行うイベント1カ所・関西戦略5カ所・ふるさと納税のイベント2カ所・ご当地キャラ博1カ所、合計9カ所の出展料を計上している。

産業課

武智 農作業現場環境改善支援事業と農業労働力確保支援事業は団体への支援と思われるが、団体に所属していない農業者は対象とならないか。

保健福祉課

委託先は

武智 相談支援事業所負担金354万8千円の委託先と内容は。

広域事務組合

西森保健福祉課長 高吾北広域相談支援事業所運営管理の負担金である。

武智産業課長 それぞれの団体が希望や要望を聞いて、申請する事業である。初めての事業なので、見直しや検討などを考えている。

障害のある人がサービスを受けるための計画作成で、現在100件近くある。



農作業の環境改善に

環境水道課

委託先は

箭野 すまいる収集事業、ごみの回収は誰がするのか。

町内事業者

箭野環境水道課長 本町の一般廃棄物収集運搬許可事業者に委託する予定である。

1団体を予定

箭野環境水道課長 活動経費分、不妊等の手術費分、合わせて15万円を上限とし、1団体を予定している。

建設課

何社分か

武智 造林事業者への補助金3335万円、何社分か。また事業内容は。

延べ6社

岡田建設課長 町独自の間伐促進事業1社、造林

地域猫活動

武智 地域猫活動事業補助金15万円の内容は。



高齢者にとってごみ出しは負担が大きい



間伐された山林

事業として国事業のかさ上げに対して4社、林業担い手確保促進事業、町独自事業に1社を計上している。

内容としては、間伐促進事業については、路面整備と除草がある。国のかさ上げ事業の造林事業については、下刈り、保育間伐、搬出間伐、作業道の開設がある。

跡地利用

森下 県営事業の残土場この跡地利用計画は未定

となつているが、考えは。

今後検討

岡田建設課長 盛土規制がかかっている。農地、駐車場、防災倉庫などを想定しているが、今後検討していく。

税務課

町民税の減少

小田(範) 歳入の町民税個人分が5年度と比べて1692万5千円少ない予算計上となつている

が、主要要因は。

金堂税務課長 所得割で、定額減税見込み額が1617万4千円の減額となつたことが要因である。

教育委員会

自転車ヘルメット購入補助金

箭野 自転車ヘルメット購入費補助金58万3千

円、着用が努力義務化になったための施策か。

小中学生全員

大原教育次長 5年度までは自転車通学に限るものだったが、努力義務化になったので、小中学生全員を対象に、過去3年間に補助金を使った人を除いた224人に限度額2600円を掛けたものを予算化した。



みんなでかぶろうよ

旧越知幼稚園で 子育て支援センターを実施



子育て支援センターとして

条例制定

地域における子育て支援サービスの充実

地域における子育て支援サービスの充実並びに地域全体で、子育てを支援する基盤の形成を図るため、6年4月から旧越知幼稚園において子育て

支援センター事業を実施するため必要な事項を定める。

質疑

【箭野】 対象者は何歳までか。また、不登校の生徒たちが集まってこられるようなフリースクールにする考えは。

《賛成・全員》

大原教育次長 子育て支援センターは、こども園に通っていない未就学児として入る。不登校対策は教育委員会が検討している。

安心して子育てができる環境を整備

児童を一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し児童福祉の向上を図るために、6年4月に開園する「越知町立幼保連携型認定こども園」における一時預かり事業に必要な事項を定める。

《賛成・全員》

条例の一部改正

会計年度任用職員に 勤手当支給

地方自治法の一部を改正する法律にともない、6年度から会計年度任用職員に勤手当を支給するため、関係する条文

を改正する。

《賛成・全員》

認定こども園の関係 条例標記等の改正

越知町立幼保連携型認定こども園設置にともない、関係条例の表記等を改正する。

《賛成・全員》

歯科医報酬の改正

歯科医報酬を改正するとともに、越知町立幼保連携型認定こども園設置にともない、当該条例の表記を改正する。

《賛成・全員》



越知町立幼保連携型認定こども園 おちの子

12年度の国民健康保険税 県内統一に向け税率改正

国民健康保険税

12年度の国民健康保険税県内統一に向け、現在の「資産割」「所得割」「均等割」「平等割」の4方式から、6年度より「所得割」「均等割」「平等割」の3方式に変更するため対応する条文を改正する。

《賛成・全員》

県内国保の課題

- 医療費の単価(医療報酬)は全国共通なのに保険料が市町村によって異なる。
 - 人口減少で小規模な市町村が増加。小規模な市町村では高額医療が発生すると保険料負担の増加が起きやすい。
 - 全国と比較して高い医療費。一人当たり医療費の増加傾向に歯止めがかからない。
- ※医療費が増加すると保険料が上昇

課題に対応するために

県内国保の保険料水準の統一

- 「県内どの市町村に住んでいても、同じ所得、同じ世帯構成であれば同じ保険料」とすることで、加入者の公平性を確保します。
- 県全体で一体的に運営することで国保運営の安定性を確保します。
- 医療費分析に基づく健康づくり等に県全体で取り組むことで医療費の上昇を抑制します。

急激な保険料負担の増加が起きにくくなり、安心につながります。

第9期介護保険計画策定 により介護保険料が改定

介護保険料

第9期介護保険事業計画策定により6年度から8年度までの介護保険料の改正及び6年度以降も実施される低所得者の保険料軽減について、改正をする。

《賛成・全員》

所得段階	第9期 (R6~R8) 年額	第8期 (R3~R5) 年額	差額
第1段階	32,220	39,780	△7,560
	20,180	23,870	△3,690
第2段階	48,500	59,670	△11,170
	34,340	39,780	△5,440
第3段階	48,860	59,670	△10,810
	48,500	55,700	△7,200
第4段階	63,720	71,610	△7,890
第5段階	70,800	79,560	△8,760
第6段階	84,960	95,480	△10,520
第7段階	92,040	103,430	△11,390
第8段階	106,200	119,340	△13,140
第9段階	120,360	135,260	△14,900
第10段階	134,520		△740
第11段階	148,680		13,420
第12段階	162,840		27,580
第13段階	169,920		34,660

※ 第1段階から第3段階の上段は軽減前、下段は軽減後

※ 第10段階から第13段階は9段階と比較

消防団員の費用弁償

消防団員の出勤報酬などの性格の明確化を図るため、消防庁長官から「非常勤消防団員の報酬等の基準」及び「非常勤消防団員の報酬等の基準に係る留意点について」の改正が通知され、費用弁償の額などが示されたことから、本町においても団員の費用弁償について所要の改正を行う。

《賛成・全員》

町道の路線認定

5年6月に国道33号越知道路(2工区)バイパス区間が供用開始となり、現道区間を町道として管理するため権限移譲を6年4月1日に受ける予定であることから、旧33号横倉立花線を新たに町道に認定する。

《賛成・全員》

工事請負変更契約

町道大樽線改良交付金工事

・法面掘削後に現地踏査を行ったところ、当初の想定より上部まで風化している岩盤が存在したためモルタル吹付工の面積を増加する。
・本工事は週休二日制モデル工事(受注者希望型)として実施し、受注者からの希望により週休二日制に取り組んだため労務費などの補正を行った。
変更後 5432万9000円(727万1000円の増額)

契約相手 (有)大幸建設 織田修藏

《賛成・全員》

専決処分

5年度一般会計補正

能登半島地震義援金

6年1月1日に発生しました能登半島地震の義援金100万円を追加補正し、総額を5億221万円とした。

《承認・全員》

手数料条例

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令が5年12月6日に公布され、戸籍法の事務に係る改正部分は6年3月1日から施行されることにともない、法令に対応する条文を改正する。

《承認・全員》



各分団が集まり訓練を実施

週休2日制モデル事業(受注者希望型)

建設業の労働環境を改善し、担い手の確保を図るための取り組み。

現場の閉鎖状況に応じ、労務費や機械経費に補正(契約変更)を行うもの。ただし、工事着手前にモデル工事に係る協議が整わなかったものは対象としない。

(補正例)

4週6休以上7休未満	労務費×1.01
4週7休以上8休未満	労務費×1.03
4週8休以上	労務費×1.05



モルタル吹付工が増加した部分

エネルギー・食料品価格等の物価高騰対策

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている低所得世帯のうち、5年度住民税均等割のみ課税世帯に対し一世帯当たり10万円を給付するとともに、低所得の子育て世帯に、世帯内で扶養されている18歳以下の子一人当たり5万円を給付するための関連予算3377万円を追加補正し、総額を5億5585万円とした。6年4月中旬に支給を開始する。

《承認・全員》

意見書

最低賃金の引き上げと雇用増進を可能とする中小零細企業支援の拡充を求める

提出者 武智龍議員

昨今の物価高騰は国民の生活を圧迫するばかりでなく、中小零細企業を中心に打撃を与え、地域経済を疲弊させている。2023年の地域別最低賃金改定では、最高は東京の1113円、最低は岩手県の893円となっており、高知県は897円となっている。

また、高知県と東京都では同じ仕事でも時給で216円もの格差があり、この地域間格差は16年で約2倍になっている。低賃金で働くパートや派遣、契約など非正規雇用やフリーランスなど弱

3月定例会に提出された1件を全会一致で可決し、関係機関に提出しました。

い立場の労働者は、毎日8時間働いても月12万円16万円にしかならないため、生活破綻は深刻で、最低賃金法第9条3項の「労働者の健康で文化的な生活」の実現には至っていない。

その影響は日常生活や経済の格差につながり、雇用の場を求めて東京一極集中や最低賃金の低い地域では若者の流出に歯止めが掛からず、生産年齢人口の減少による労働力

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、中央最低賃金審議会会長、高知地方最低賃金審議会会長



5年度補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	△ 2億8424万円	54億7161万円	
特別会計	国民健康保険	△ 358万円	7億842万円
	介護保険	△ 4万円	11億3571万円
	後期高齢者医療	△ 207万円	1億2461万円
	自然の森博物館	△ 15万円	3264万円

5年度一般会計 54億7161万円

5年度一般会計予算は、事業執行見込みにより2億8424万円を減額補正して、総額を54億7161万円としました。

《全員賛成・可決》



山橋正男 議員

問 人口減少対策は本町にとって喫緊の課題である。全職員がアイデアを出しあったようであるが、内容は、



職員からのアイデア

町長の政治姿勢

人口減少対策

全職員がアイデアを出した 町長

小田町長 医療関係の充実、専門学校や大学の誘致、キャンペーンカーと企業との掛け合わせなど、アイデアは700以上出ている。これからプロジェクトチームをつくって内容を精査する。

納税サイトに委託している。寄付者はネット上で決めているので見せ方も重要である。個人のふるさと納税は返礼品を見て寄付先を決めており返礼品の新規開発、バージョンアップが大事だ。新規登録者の開拓は日常的に行いセット内容の変更、組み合わせや定期便企画、近隣市町村とのコラボ企画など目新しい返礼品を造成している。

ふるさと納税を増額するには

問 ふるさと納税は本町にとって予算編成など事業を展開する上で貴重な財源である。どの市町村も同じであるが増額についての町長の考えは、

返礼品の造成

小田町長 大手ふるさと

住宅耐震の促進

補助金の引き上げは

要綱を改正 建設課長

問 4年度の耐震改修工事で、自己負担なし、10万円未満・以上の件数は、また、県が補助金を引き上げるとのことだが本町の考えは、

岡田建設課長 全部で20件。負担金なしは3件、10万円未満は15件、15万円が1件と約28万円が1件である。

現在、補助金上限額は122万5千円であるが、人件費や資材費の高騰など考慮して補助金限度額を増額し、限度内であれば個人負担が生じないように要綱を改正する予定である。



柱と筋かいの強度を上げる金具

一般質問 5人登壇



町政を問う



3月定例会は5人が一般質問を行いました。発言内容は紙面の都合で要約していますが、ぜひ議場に足を運んでいただき、白熱した議論を傍聴してください。なお、全文を記載した会議録は、議会事務局と町のホームページ (<http://www.town.ochiigi.jp>) でご覧ください。

一般質問とは 議員の日常活動と調査研究、住民の声や自身の考え方をもち、町長や教育長などに方針を問うものです。

山橋正男・・・ 17ページ



- ①町長の政治姿勢
 - ・人口減少対策
 - ・ふるさと納税を増額するには
- ②住宅耐震の促進
 - ・補助金の引き上げは

上岡千世子・・・ 18ページ



- ①教育行政
 - ・つまずいた生徒への対応は
 - ・過重な学習量になっていないか
- ②農業行政
 - ・小規模農家への支援を

市原静子・・・ 19ページ



- ①水道の耐震化
 - ・現状は
- ②消防団員の暑さ対策
 - ・適切な装備が必要では
- ③ワクチン接種費用の助成
 - ・带状疱疹ワクチン
 - ・コロナワクチン

箭野久美・・・ 20ページ



- ①防災
 - ・災害時協力井戸の整備
 - ・住宅の耐震化率は
 - ・町道の拡幅
- ②教育行政
 - ・学力定着度の把握は

武智 龍・・・ 21ページ



- ①子育て世帯の定住促進
 - ・住環境づくりをどう考える
- ②住宅の耐震化
 - ・防災アドバイザーを
- ③持続可能な農業・農村維持
 - ・制度の見直しを



上岡千世子 議員

問 タブレットを使ったすららドリル学習で、つまずいた生徒への個人指導は、どのような時間を充てているのか。また、その生徒への対応は。

織田教育長 中学校では15時50分から16時20分の「越知学」の30分を活用して取り組んでいる。それ以外に特に個別の時間は設けていない。すららドリルは自分で学習を進めるAI型学習である。間違った回答には、分かりやすく説明する解説があり、何度もチャレンジするうちに理解できる仕組みになっており、効果を実感できる生徒が増えていく。解説を読んでも分からない生徒には、原因解決のために基礎的な部分に取り組みるように誘導している。

教育行政

つまずいた生徒への対応は

基礎的な部分に誘導 教育長



「越知学」で「すらら」に取り組む

問 過重な学習量になっていないか

答 4年度文科省標準授業時数、小学2年生は910時間である。越知小2年生は1063時間で153時間も多い。他の学年も同様に多いが、児童の過重な学習量になっていないか。

織田教育長 小学校で精査したところ、1063時間に学校行事や学力保障の時間が含まれていて、それを引くと1039時間となる。それでも129時間の超過となっている。県の教育長は、標準授業時数から105時間を超える場合は、児童の負担過重と捉えているという答弁もあり、6年度から授業時数を精査し見直しするよう、5年10月に小中学校長に伝えた。

精査し見直しを

農業行政

小規模農家への支援を

支援策を検討 産業課長

中山間地域再興ビジョンでも、若者の増加を中心に、中山間振興に向け、取り組みが示されている。町内には小規模な農家も多いのでそういう人々も守り、農業の維持、継続できるように支援策を考え県への要請をしていきたいと考える。



より労力がかかる段々畑

問 中山間地域再興ビジョンが県議会で審議されているが、小規模農家や家族農業を守るため、政策の検討を進め県へ支援要請してはどうか。

武智産業課長 労働力不足や物価高騰による農業資材の高騰など課題が多い。それらを少しでも解決し、基幹産業である農業を今後も維持継続させ

水道の耐震化

現状は

耐震化率26・5%

環境水道課長



耐震化が望まれる水管橋

箭野環境水道課長 町が管理する水道施設は11カ所、うち5カ所は耐震基準のない時代に造られたものである。水道管の耐震化は4年度末では管路総延長の26・5%となっており、地震に対する備えは十分ではない。震災などで発生する被害箇所を少しでも減らすことを目標として、水道施設や管路などの更新を行い、安全性を高めていきたい。

問 消防団員の活動服は長袖で、夏は大変暑い思いをしている。

答 名古屋市では暑さ対策として送風ファン付きの空調ベストの着用を認め「涼しい」との声。本町も適切な装備が必要と思うが、考えは。

今後、消防団員の意見を聞きながら、空調服や冷却タオル、ネッククーラーなどの装備品について、調査研究を進めていきたい。

ワクチン接種費用の助成

带状疱疹ワクチン

問 带状疱疹は、50歳以降に発症することが多く、激しい痛みを伴う。带状疱疹ワクチンで予防できるが高額であり助成を求める声がある。考えは。

コロナワクチン

問 コロナワクチンは4月以降有料となる。高額であり助成を求める声があるが考えは。

助成は検討していない

西森保健福祉課長 現在、国で定期予防接種などの規定を検討している。自己負担額などについては、秋までに決定するものと考えている。町単独での助成は検討していない。



市原静子 議員

問 能登半島地震では生活に欠かせない水道に甚大な被害が生じた。長時間の断水は、過去の大災害でも繰り返されてきた。本町の水道施設と水道管の耐震化の現状は。

消防団員の暑さ対策

適切な装備が必要では

調査研究を進める 危機管理課長



河川の氾濫を想定して

片岡危機管理課長 消防団員から、現行の活動服が厚手の生地であり、ストレッチ性もなく、夏場は暑く動きづらいとの声がある。6年度は、暑さ対策として、夏用の消防活動服に一斉更新することで対応したい。



片岡危機管理課長 議員

問 大地震災害時に有効といわれている災害時協力井戸の整備についての考えを聞く。

片岡危機管理課長 能登半島地震においても生活用水として大いに役立っていることから、改めて井戸の災害時利用を見据えて、現地調査や補助制度の情報収集などを行い、検討していきたいと考える。

住宅の耐震化率は

問 平成31年越知町耐震改修促進計画では、耐震化率35%とあるが、現在何%で、またその戸数は40・4%
片岡危機管理課長 本町の家屋台帳に基づく耐震化率は、6年2月末時点で40・4%である。また、元年度から5年度まで、合計108件の耐震改修が行われ約5%上昇した。

町道の拡幅

問 本町には、緊急車両が通行できない町道が多く、拡幅の要望や陳情も多いと思われるが、土地を提供するなど住民の協力が必要であり、官民一体となって推し進めていかなければならないと思うが考えは。
岡田建設課長 緊急時に救急車や消防車が通行可能な道路にすべきと考えている。

教育行政

学力定着度の把握は 実態に応じて対応 教育次長

問 本町の不登校児童・生徒の現状は。
大原教育次長 5年4月から12月末現在で20日以上欠席した人数は、小学校0人、中学校5人である。

学力定着も取り組むが、児童・生徒の気持ちに寄り添いながら丁寧に関係を構築していきたい。

防災

災害時協力井戸の整備

情報収集など行い、検討 危機管理課長



使われていない井戸

防災面では、南海トラフ地震に備え、救出、救助活動がスムーズに行えるよう、また経済活動などの早期復旧に資するため、災害に強い道路とすることが重要である。道路計画に対する地元との合意形成が整った場合には、早期事業化に向けて取り組んでいく。

問 小中学校の不登校児童・生徒への学力保障は、ライブ配信などで十分できているか。また、学力の定着度はどのように把握しているか。
大原教育次長 ライブ配信は、児童・生徒の参加の有無にかかわらず行っているが、活用された実績はほとんどない。学力定着度の把握は、児童・生徒の実態に応じた方法で対応している。



自宅でも授業が受けられる

子育て世帯の定住促進

住環境づくりをどう考える

アイデアを吟味し手打つ 町長

小田町長 県外からのI・Uターンを中心に力を入れ、子育て世帯に住んでいただくためにアイデアを十分吟味して手を打ってきたい。

住宅の耐震化

防災アドバイザーを
問 住宅の耐震化を加速させるため、自主防災組織の役員などが防災アドバイザーとして、活動できる仕組みはつくれないか。
片岡危機管理課長 信頼が置ける人からの情報や助言は効果があるので、防災士や建築士、豊富な災

制度を検討したい

災士や建築士、豊富な災



武智 龍 議員



若者住宅(若者の定住促進が目的)

問 6年度から始まる県の人口減少対策総合交付金は、移住や定住施策を後押しする支援策とかが、子育て世帯の皆さんが希望を持って住める住環境づくりをどう考えているか。

持続可能な農業・農村維持

制度の見直しを

要件など見直す 産業課長

問 農業者が減少し、省力化や負担軽減が課題となっている。持続可能な農業や農村維持のために、補助金制度を見直すときではないか。
武智産業課長 持続可能な農業支援として消毒や除草管理等に要する経費、簡易トイレの無償貸与などの支援を予定している。農業近代化補助金事業は、受益者が限定されているため補助要件や事業種目などを見直したい。

その他の質問

組織の見直しは

問 本町は福祉や集落維持など行政需要が増えており、今後はこうした課題解決に迅速に対応する必要があるので、役場組織を見直す考えはないか。考えていない

小田町長 これまでに西庁舎から建設課を本庁に移したり企画課と産業課を隣同士にするなど、連携を考えてやっており、新しい事業に特化した組織をつくる考えはない。



より良い作業環境へ

総務教育常任委員会（委員長・市原静子、副委員長・武智龍）5人は2月22日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



小学校

小学校照明のLED化工事

学習環境の改善が期待される



明るくなった体育館

小学校の体育館、職員室、教室などの照明のLED化を調査した。体育館は数年前から切れている電球もあり、暗いとの声があったが、やっと明るくなって子どもたちが安全に運動できる環境に改善される。職員室も明るくなり業務環境が改善される。教室の照明工事はこれからであったが、子どもたちの目のためにも教室の照明が明るくなることによる学習環境の改善が期待される。

中学校照明のLED化を望む

中学校校舎の照明器具も古くなってきていると思われる。明るさに格段の差があるので、子どもたちのためにも計画を立て環境改善の検討を望む。

防火水槽耐震工事

計画通りの実施を



リブシート工法による耐震化

小舟から10区には21基の防火水槽があり、うち4基が鋼製耐震貯水槽、うち6基が本工事により耐震化済みであり、残る11基を毎年3基ずつ工事予定とのことである。新たに鋼製の耐震性貯水槽を設置することが困難な住宅密集地において、既存の防火水槽内部を強度あるシートで被覆するリブシート工法は、5日程度の施工の短さにより消防水利機能損失を短期間としており、非常に有効な工法である。今後も計画通りに進めてもらいたい。

地震火災により、広範囲な延焼が想定される町中心部の防火水槽の耐震化を調査した。

危機管理課

防災行政無線設備蓄電池交換業務

予定通りの実施を



停電時も作動

経年劣化等により、蓄電能力が低下した防災行政無線設備の蓄電池を交換するものである。71箇所を一度に交換すると800万円ほどとなるため2カ年に分割して実施する。火災時や緊急地震速報など住民に危険を知らせ、避難を促す重要な情報伝達機器なので、停電時に作動できるように蓄電池交換を進めてもらいたい。

また、随意契約となっているので、価格の確認と、設備の管理シールに蓄電池交換年月が記入されていなかったため、管理の見直しを望む。

企画課

8区中間管理住宅

新たな空き家の掘り起こしを



中間管理住宅入居資格：・町外から転入してくる方
・転入後間もない方

人口減少対策で、空き家活用の一環として取り組んでいる中間管理住宅の第1号ができて非常に良かった。町中にできたことにより、入居者が退去しても次の入居者が見つけやすい。先進事例となるので、新たな空き家所有者の掘り起こしに力を入れ、中間管理住宅が増えることを望む。

環境水道課

10区児童公園トイレ新設工事

経過観察をすること



一部樋がない

設備や内部配置などについてワークショップを開催し、保護者などの意見をとり入れて設計されており、非常に良い取り組みであると思う。屋根に樋がない部分があり、施設への影響が懸念されるので、経過観察をすること。

産業建設常任委員会(委員長・岡林学、副委員長・上岡千世子)5人は、1月26日に所管事務調査を行い、調査結果を取りまとめ3月定例会で報告しました。



建設課 町道佐ノ国1号線 佐ノ国トンネル修繕工事

早急な完成が望まれる



年度内の完成を

法定点検で「早晚、利用者に対して影響が及ぶ可能性が高いため、早期に措置を講じる必要がある状態」と判定されたため、修繕工事である。調査によりトンネル上部に空洞が確認され、構造的補強工として74・8立方メートルの裏込め材が注入された。

また、剥落対策、漏水対策なども行われるが現在部材の搬入待ちの状態で一時的に中断している。佐ノ国トンネルは、町管理で唯一のトンネルである。早期再開に力を入れ、年度内完成を望む。

建設課 町道下ノ谷堂林線 防災・安全対策交付金工事

対策工事の継続を検討されたい



迫力ある法面工事

令和4年12月の豪雪による倒木後に不安定になった法面への安全対策である。

町道全体として、この工事箇所と同じ状態が所々に見受けられるので、防災、減災、安全確保の

ため、計画的な対策工事の継続を検討されたい。また、法面上部に転石が多く見られる。職員が大雨の後などに巡回パトロールを行っているが、今後も安全に注視し続けたい。

建設課 町道山室線 防災・安全対策交付金工事

町道のさらなる拡幅を望む



車両の安全な通行が期待される

地元からの工事箇所申請を受けての施工延長20mの拡幅工事である。現道幅員2mが4mになることにより、緊急車

両の安全な通行や普通車の行き違いが可能となるので、計画的な予算措置による工事の継続を望む。

環境水道課 簡易水道(本村地区) 浄水場整備工事

安全・安心な飲料水の供給ができる



膜ろ過装置

給水人口131人、給水戸数78戸。本工事に際して、0・01ミクロンまでの物質の除去を可能とする膜ろ過装置が設置され、クリプトスポリジウム汚染リスクを排除する対策が図られている。整備工事が完了し、安心・安全な飲料水の供給ができるようになった。水道事業は大変重要であり、引き続き、どの地区においても、安心・安全な飲料水の供給が安定的にできるように努めてもらいたい。

クリプトスポリジウム 汚染の恐れのある水中に存在する大きさ0・1ミクロンの病原性微生物

農業委員会 地域計画

重点的に取り組むことを望む



農業の将来のために

農業経営基盤強化促進法が改正され、市町村において7年3月末までに

地域計画を策定することが義務付けられた。今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが心配されており、このような地域の課題を解決するための、大変重要な計画となるので重点的に取り組むことを望む。

あれはどんなちゅうが？

ゴミ出し問題

Q ごみステーションが遠い

小田(範)議員(27年3月議会)

高齢者や身体の不自由な人がごみをステーションまで持ち出すのに、大変苦労されている。

援助が必要な人もいると思うが、何か対策を考えているのか。

町長 隣の人にお願ひしたり、ヘルパーが持ち帰るなどしているが十分でない。現状を把握して対応を考える。

Q ごみ出し対策その後は

小田(範)議員(元年9月議会)

27年3月議会で改善策を講じるよう質問していたが、その後対策は。

岡田環境水道課長 ごみ出しが困難な世帯を把握し、シルバー人材センターや集落支援員、地域の見守り活動隊に協力を願うなどの方法を検討したい。

Q 家庭ごみ戸別収集を

岡林議員(5年6月議会)

高齢者や障害者などの世帯を対象に、戸別に収集する事業を行っている町がある。本町でも実施できないか。

箭野環境水道課長 ごみ出しは、ステーションの位置変更や増設をして、住民サービス向上に努めてきたが、高齢化に伴い新たな問題が生じている。制度内容など研究をしたいと考えている。

処理状況

6年4月～ すまいる収集事業

75歳以上の高齢者や65歳以上で介護認定(要支援・要介護)を受けている方、障害者手帳の所持者といった方たちのみで構成される世帯で、自らごみを集積所まで排出することが困難な方やまた他の者からの協力が得られない方を対象として、ごみを予め決められた曜日に玄関前など所定の場所においていただくことで、個別に回収し清掃センターまで搬出を行う。

【利用までの流れ】
申請 → 面談(訪問) → 審査 → 決定通知 → 利用

【収集】
可燃ごみ1回/週
不燃ごみ・資源ごみ1回/月

【全体計画】
4月広報などによる通知
4月～受付開始 以降継続



大変だった集積所までのごみ出し

広域議会

第1回定例会が2月28日に開かれ、6年度各会計予算、5年度補正予算、職員の育児休業等に関する条例改正など12件を全会一致で可決しました。

組合長報告

●清掃センター

1月末までのごみ搬入量は、6442トンで11トンの増となっている。ごみ搬入量のうち、スチール缶等の金属類、段ボール等の紙類、ガラス類、ペットボトル等の資源化量が852トンで、ごみ搬入量の13%が資源として再利用され、焼却



ごみの13%が資源として再利用されている

灰についても、435トンがセメント原料として再利用されている。

●各施設の運営状況
・消防署
令和5年中の出勤状況については、救急出勤が1588件で前年より36件の減少、搬送人員も1454人と前年より63人減少している。



待機者数が減少している

計53件となり、前年より1件増加している。救助出勤は前年より7件少ない24件で、内訳は水難事故が6件、交通事故が4件、その他が14件となっている。

・特別養護老人ホーム
1月末までの入所稼働率については、春日荘62.9%、昨年同時期比較10.9%の減、五葉荘60.7%で7.6%の減、もみじ荘78.2%で9.5%の減、あがわ荘95.3%で3.2%の増となっている。

会計名	予算額	前年度比
一般会計	10億8212万円	1億3211万円
特別会計	特別養護老人ホーム	△4781万円
	養護老人ホーム	△407万円
	障害者支援施設	4254万円
	ふるさと市町村圏	13万円

6年度予算 (全員賛成・可決)

議会です
こんにちは

① おちのちから

6年4月5日「越知町立幼保連携型認定こども園おちの子」が開園しました。これまでの越知保育園と幼稚園が統合しての新たなスタートとなります。
今号からは「こども園おちの子」に通園しているお子さんの紹介記事を連載します。
初回は1歳児りんご組、山中紫稀ちゃんです。ご両親にお話を伺いました。



生後6カ月のころ

出産のとき、コロナで立ち合いができず、テニスボールを握らされました:母



やまなか しき
山中 紫稀 ちゃん
(ちっちゃな怪獣で甘えん坊)

やさしく思いやりのある子に育ってね

議会を傍聴しませんか
3月定例会の傍聴者は延べ11人でした。次の定例会は6月7日開会の予定です。大勢の傍聴をお待ちしています。



食いしん坊
お菓子大好き、隠していてもすぐに見つめます

おしとやかに
なってほしいな

仲良く一緒に遊ぼうね



問 越知にあつたらいいものは？
雨でも遊べる公園や遊園地

編集後記

能登半島地震では、古い住宅が倒壊し、多くの高齢者が犠牲となりました。住宅の耐震化が全国的な課題となっています。

今号では、2人の議員が住宅耐震化の一般質問をしています。本町も、住宅の耐震化を早急に進めなければなりません。

住宅の耐震診断・耐震化工事などの補助金制度があるのでご利用ください。

多くの町民の皆さまに議会だよりを読んでいただけるよう、読みやすい紙面の編集に努め、議会活動を分かりやすく伝えてまいります。

《森下》

編集・発行責任者

議長 高橋 丈一

議会広報常任委員会

委員長 野久美

副委員長 森下安志

委員 小田 範博

委員 上岡 千世子

委員 小田 壮一

※分かりやすい紙面に心がけています。読後のご感想、ご意見をお寄せください。

